

三 原 郡

第七 慶 野 松 原

〔圖版第二九〕

所在 三原郡松帆村富飯野字慶野

現狀 慶野松原ハ三原郡西北海岸松帆浦ニアル國有林松原ノ總名ナリ。同郡湊町ヲ流ル、大白川口附近ヨリ海岸線ニ沿ヒテ南西ヨリ東北ニ向ツテ延長約三杆、同郡津名郡鳥飼村五色濱ノ南端ニ至ル間ニハ松林蜿蜒タリ。コノ松林中、南部ニ屬スル延長約二杆許、總面積約〇四九平方杆ハ民有林ニシテコレヲ古津路ノ松原ト稱シ、北部ニ屬スル延長約一杆、總面積約〇三六平方杆ノ松林ハ國有林ニシテコレヲ慶野松原ト稱ス。

慶野松原ハ其全形ホ、長三角形ヲナシ北方ニ其頂點ヲ向ク、松原中幅最モ廣キ處ハ約五五〇メートルヲ有シ林相ノ美ナルモ又國有林ノ方民有林ニ優ル。

該松原ハ海岸線ヨリ内方五〇メートル位ノ地點ニ存シ海濱一帶ハ砂濱ナリ。松原中ニハ幾多ノ小砂丘起伏シ、砂面ニハかはらよもぎ一面ニ繁茂シ、凡テ矮生ニシテ枝ヲ張り、高サ十五センチメートル以下ノモノニ皆花ヲ開ク。ソノ間ニうんらんはきぼうふう等ノ海濱植物點在ス。砂丘以外ノ平地ニハありのとうぐさはたがやびろうごてんつき等ノ矮生草木多シ。

松原ノ中央ヨリ稍以北ニ無格社戎神社ヲ鎮座ス。此附近ニ大松最モ多シ。數株ノ大松ニ就テ

ソノ大サヲ記セバ

戎神社裏ノ大松

其一	根本周圍	四〇メートル
	目通周圍	四二メートル
其二	根本周圍	四一メートル
	目通周圍	三四メートル
其三	根本周圍	四四メートル
	目通周圍	三七メートル
其四	根本周圍	三二五メートル
	目通周圍	三四メートル
	根本周圍	四八メートル
	目通周圍	四三メートル
	高サ	二一五メートル

松林中最大松 (戎神社ノ東方、松原ノ境界ニ近キ處)

慶野松原中目通周圍三メートル以上ノ大松ハ約四十餘本ヲ算シ、該シテ北部ニ大松多ク且ツ丈高ク、南部ノモノハ高サ小ナルモ枝葉茂レリ。又根上リ松ハ南部ニ多ク之ヲ見ルベシ。此地瀬戸内海ニ臨ミ、四國小豆島等ヲハルカニ眺メ風光明媚ノ地タリ。サレド尙世人ニ知ラ

ル、コト少キヲ以テ來遊スルモノ多カラズ。

附 記

來ぬ人をまつほの浦の夕なぎにやくや藻鹽の身もこがれつつ（定家）ノ歌ハ此地ヲ詠マルモノト言ヒ傳フルモ
松帆浦ト稱スル處ハ津名郡北端岩屋ノ海岸ニモアリ、淡路常盤草ニハ定家ノ詠吟セシハ岩屋ニアルモノナリト
イヘリ。記シテ以テ備考トナス。

參 考

天然記念物調査報告第六輯名勝ノ部（内務省發行）參照（山島・松本委員）

天 然 紀 念 物



所在 城崎郡田鶴野村赤石古屋敷
青龍洞ハ有名ナルカノ玄武洞ノ存スル
第八圖 青龍洞附近地圖

城崎郡
青龍洞

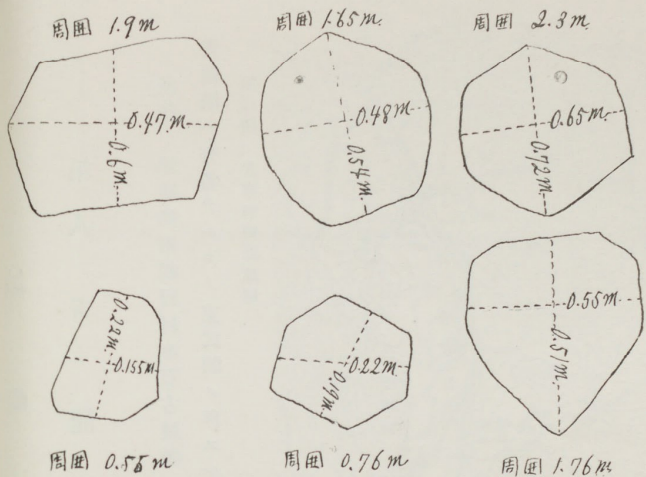
〔圖版第三〇〕

青龍洞在所地點

山ノ同一山麓ニアリテ玄武洞ヨリ東南僅ニ
百米餘ノ地點ニ在リ。
現狀 青龍洞ハモト石材トシテ玄武
岩ヲ探掘セシ跡ニシテ全部其柱狀節理
ヨリナル、洞ノ大サハ高サ三十三米、
幅四十米ニシテ南四十度西ノ方向ニ開
ケリ、柱狀節理極メテヨク發達シ實ニ
壯美ノ觀アリ、石柱ハ洞ノ左側及右側
ハ上部ガ中央ニ向ツテ傾斜スルモ中央
ハ略垂直ニ立テリ。右方ノ上頭ニハ柱
頭蜂巢狀ヲナシテ露出シソノ一部ヨリ
地下水滴下セル處アリ。

天然紀念物調査委員
同 松本從之
山鳥吉五郎

第九圖 青龍洞ノ玄武岩ノ大サ



石柱ハ概ネ五角六角ヲナシ、其大ナルモノハ周圍二三米、普通一・五—一・九米、直徑數十種ニシテ小ナルモノハ周圍數十種、直徑一・三—二・二種位ナリ、而シテ洞ノ右側ニ小ナルモノ多シ、柱ノ長キモノハ十五米ニ及ブモノアリト雖多クハ板狀節理ノ爲メニ短カクナリ十五乃至二十三種ノ間隔ヲ以テ板狀ニ節理セリ、又狭キモノハ一米間ニ約三十ノ横條ヲ有スルモノアリ、今實地ニツキテ其大サヲ測リシモノ、數例ヲ揚グレバ上圖ノ如シ。

成因 此地方ハ一體ニ玄武岩ノ柱狀節理ヨリナルモノニシテ今ヨリ約百年前ニ採石ヲ初メ爾來採掘ノ結果カ、ル奇觀ヲ呈セシモノニシテ大正年間採石ヲ中止シ青龍洞ト命名シ一般ノ觀覽地トシ玄武洞ヲ音ヅル、モノハ必ズ之ヲ觀ルニ至レリ。

昨年七月内務省囑託天然紀念物調査委員佐藤傳藏先生此地ニ調査ノ爲メ來ラレ之ヲ觀テ之ヲ賞嘆シ地質學研究上玄武洞ト共ニ保存スルノ必要アルコトヲ説カレタリ。(松本山島委員)

美方郡・城崎郡

第九 濱坂町附近沿岸ノ洞門洞窟(第二報)

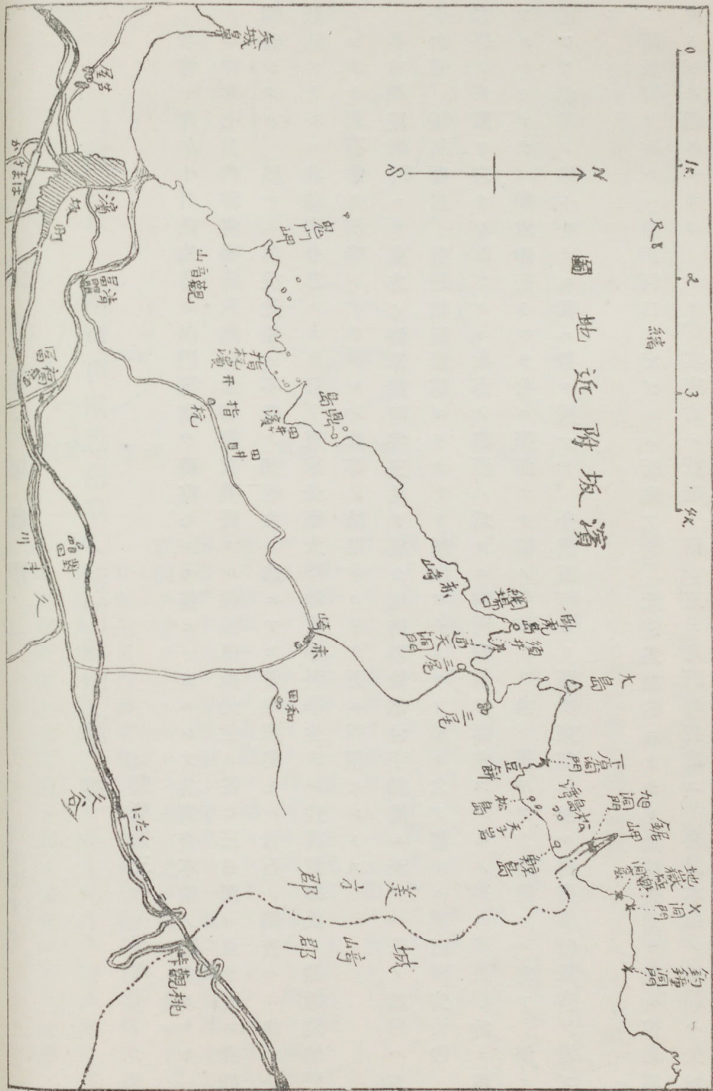
[圖版第三一—三四]

余等一昨年十月此地方ノ洞門洞窟ヲ視察セルモ僅ニ一日ニシテ其調査不備ノ點多カリキ、然ルニ昨年七月内務省囑託天然紀念物調査委員タル佐藤傳藏先生ニ從ヒ三日間ニ亘リ更ニ詳細ニ調査シタリ、然ルニ其後先生ノ不時ノ御逝去ノ悲ニアヒ當時採集セル岩石ノ調査ハ一時中止ノ狀態ナリシニ其後御令息ニシテ目下東京帝國大學地質學科學生タル佐藤源郎氏ノ顯微鏡的研究ニヨリテ岩石悉ク明瞭トナリタレバ此等ノ結果ニヨリテ更ニ詳報セントス。

美方郡濱坂町ヨリ東方ノ海岸同町宇三尾ヲ經テ城崎郡餘部村宇御崎ニ至ル一帶ノ沿岸ハ輝石安山岩、凝灰礫岩、曹達粗面岩等ヨリナリテ斷崖ヲナスモノ多ク之ヲ貫クニ屢粗面安山岩、玢岩等ノ岩脈ヲ以テシ加フルニ北海ノ怒濤ノ爲メニ洞門洞窟ヲ形成スルモノ多ク地質學的ニ興味アルノミナラズ碧水渺茫トシテ北ニ際涯ナク鵜ノ浮ブアリ魚ノ躍ルアリ斷崖ニハ花アリ海ニハ島アリ名勝ノ地トシテモ稀ニ見ル所ナリ、今濱坂町ヨリ順次東部ニ至ル地質學的觀察ヲ述ブベシ。

濱坂町ヲ流ル、岸田河口ヲ出ヅレバ折島アリ、此邊集塊岩ヨリナリ山貌奇形ヲ呈シ但馬耶馬溪トデモ稱スベキモノナリ、其東方ハ荒磯ト稱シ東ニ鬼門岬突出ス—參謀本部ノ地圖ハ矢城鼻

濱坂附近地圖



ヲ鬼門岬ト誤レリ―荒磯ヨリ鬼門岬及其附近ハ黒雲母石英斑岩ヨリナリ長石ノ斑晶ノ見事ナルモノヲ含ム、岬ヲ曲リテ間モナク綠色ヲ帯ベル粗面岩ノ岩脈此石英斑岩ヲ貫ケリ、指杭濱ヨリ田井ヶ濱ヲ經テ其東方鼎島附近ニ到ル一帶ノ地ハ黒雲母花崗岩ヨリナル、更ニ東方ニ進メバ岩石紅色ヲ帯ブルヲ以テ赤崎ト呼ベリ、其入口ニ粗面安山岩ノ柱狀節理ヲナシテ露出スルモノアリ、赤崎ノ地方ハ輝石安山岩ヨリナリ其石基中ニ赤鐵鑛ノ微粒ヲ含ムヲ以テ紅色ヲ呈スルモノナリ、赤崎ノ東方ニハ鯛ヶ鼻突出シ其上ノ方ニ鯛掛岩アリ、蓋シ其形鯛ニ髣髴タルヲ以テ里人ニ膾炙スルモ地質學ノニ意味アルモノニアラズ、鯛掛岩ノ東方網場口ニ亦柱狀節理ヲナス岩脈アリ、之ヲ經テ須井ノ邊ハ凝灰礫岩ト頁岩ヤ砂岩ノ互層ヲナシ岩脈之ヲ貫ケリ、須井ヨリ間モナク箭穴ノ通天洞窟アリ、通天洞窟ノ東方ノ地名ヲ「チャーカ」ト稱シ粗面質凝灰岩ノ斷崖ヲナス、層面ハ水平ヨリ僅カニ傾斜スルニ過ギズ、其東方ヲ彎曲セル岩脈ニテ貫通セリ、之ヨリ三尾ニ至ル間ハ凝灰岩ニシテ頁岩トノ互層ヲナス。

三尾ハ濱坂町ノ東海岸海路八軒ノ海濱ニアル一漁村ニシテ鯛ノ製造ヲ以テ名アリ、村ノ東方ハ曹達粗面岩ヨリナリ日和山ヲ形成シ柱狀節理著シ、日和山ノ直北ニ一葦水ヲ隔テ、大島アリ、全部曹達粗面岩ノ柱狀節理ヨリナル。

三尾ヨリ下洞門ニ至ル一帶ノ海岸ハ粗面岩ノ發育良好ニシテ柱狀節理ヲナスモノ多シ、下洞門ヲ出ヅレバ松島灣ニシテ礫岩ヨリナルヲ以テ此地ヲ里人「豆餅」ト呼ベリ、礫ハ重ニ花崗岩ヨリナレドモ火山岩ノ礫ヲモ含有ス、此礫岩中ニ五十米ヲ隔テ、二個ノ岩脈アリ、西方ノ

モノハ下荒岩脈ト名ツケ輝石玢岩ヨリナリ東方ニアルモノハ松島岩脈ト名ツケテ粗面安山岩ヨリナル、松島灣内ニアル松島天子岩ナドハ粗面岩ヨリナルモ之ヨリ東方ハ帯白色ノ凝灰岩ヨリナリ袴島鯨島梅干ナドモ同ジク凝灰岩ヨリナル、灣ノ東方ニ鋸岬長ク突出シ岬ノ基マデハ凝灰岩ナルモ岬ハ岩質ヲ異ニシ黒味ヲ帯ビタル輝石安山岩ヨリナリ水ノ浸蝕ヲ受ケテ其頂上鋸齒ノ如キ觀ヲ呈セリ、其中央ニ旭洞門ヲ貫通ス。

旭岬ヲ東ニ廻レバ城崎郡餘部村字御崎トナル、之ヨリ東方ニ凝灰岩ヲ貫ク粗面安山岩ノ岩脈アリ、之ヲ屏風岩ト稱セリ、屏風岩ノ東ニ地獄極樂洞門アリ、其東ニ直ニ十字洞門アリ、十字洞門ノ東ニ當リ大磊^{オホイソ}ノ釣鐘洞門アリ、此地方洞門洞窟中最大ナルモノナリ。之ヨリ各洞門洞窟及大島ニツキ記述スベシ。

一、通天洞窟 通天洞窟ハ凝灰礫岩狀ノ粗面岩中ニアリ高サ十三米、少シク入レバ稍低クナル、幅ハ入口ハ三・八米、内部ノ最モ廣キ處ハ二十米ニ達ス、奥行ハ五十二米ノ處ヨリ急ニ狭クナリ船ヲ通ジ難シト雖洞ハ山腹ヲ貫通シテ明キヲ以テ通天洞窟ト稱セリ、洞内ノ岩壁ノ高處ニハ岩燕一面ニ營巢シ親燕ノ出入夥シク鳴聲實ニ喧シ。

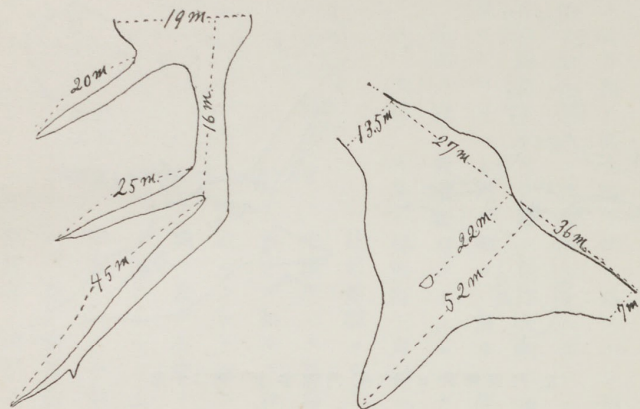
二、下原洞門 下原洞門ハ凝灰礫岩ト粗面岩トノ中ニ形成セララル、蓋此兩岩ノ接面ニ沿ヒ海水ノ侵蝕シテナレルモノニシテ西北ヨリ東面ニ貫通ス、高サ一〇・七米、奥ノ最モ高キ處ハ一・五米、西北入口ノ幅ハ一・三八米、東南入口ノ幅七米、洞内ノ幅最廣キ處ニ一ノ岩アリ、北壁ヨリ此岩マデノ幅ハ二十二米ニシテ此岩ヨリ奥ニ灣入セリ、北壁ヨリ此灣入ノ奥マデハ五十三米

アリ、海水ノ深サ五米トス。

三、下原岩脈及松島岩脈松島灣ノ斷崖ニ五十米ヲ隔テ、此二個ノ岩脈アリ、何レモ黒色ヲ呈スル緻密ノ岩石タリ、下荒岩脈ハ輝石玢岩ヨリナリ幅二三米、松島岩脈ハ粗面安山岩ヨリナリ幅二・七米アリテ上方ニ之ト並行シテ一支脈アリ、此等ノ岩脈ハ母岩ト著シク其色ヲ異ニシ殊ニ松島岩脈ハ母岩トノ間ハ海水ノ侵蝕ヲ受ケテ裂罅ヲ生ジ堺界特ニ明瞭ニシテ佐藤傳藏先生ハ實ニ模範的發育ヲナセル岩脈トシテ激賞セラレタリ。

四、旭洞門 旭洞門ハ鋸岬ノ中央ニ略楕圓形ヲナシテ東西ニ岬ヲ貫通シ旭光ヲ眺望シ得ルヲ以テ「旭のぞき」トモ稱ス、洞門ヲ東方ヨリ測量スルニ其高サ二十米、入口ノ巾一四・六米、奥行十五米ニシテ「旭のぞき」ノ孔丈ケノ高サハ十五米ニシテ孔ヨリ水面マデハ五米ナリ。

五、地獄極樂洞窟 地獄極樂洞窟ハ凝灰岩中ニ存シ之ヲ貫ク粗面安山岩ノ岩脈トノ堺ノ節理ニ沿ヒテ侵蝕



(左)窟洞樂極獄地ビ及(右)門洞原下 圖一十第

夏ハ小鬼百合ノ花美シク秋ハ野路菊ノ花香シ、思フニ本島ハ野路菊ノ產地トシテ本邦最北限タルベク此意味ニ於テモ保護スルニ足ル、況ンヤ曹達粗面岩ノ柱狀節理ノ發育セル日本隨一ノモノタルニ於テヲヤ、佐藤傳藏先生ガ釣鐘洞門ト共ニ天然紀念物トスルノ價値充分ナリト激賞セラレタルモ亦宜ナル哉。

鳥取縣浦富地方ニモ同岩ヨリナル大島アリ、故ニ三尾大島トシテ其混同ヲ避クルノ必要アルベシ。(松本山鳥委員)

三原郡

第十 淡路國道ノ松並木

所在 三原郡八木村^ヤ養宜^キ字上八木ヨリ市村ヲ經テ神代村神稻字國衙ニ至ル國道

現狀 八木村ヨリ市村ヲ經テ神代村ニ至ル國道ハ津名郡洲本町ヨリ三原郡福良町ニ通ズル國道中ノ一部ニシテ國道ノ幅約四米、現ニ黒松ノ並木ヲ有スル延長里程ハ約五杆ニシテ松並木ハ國道ノ兩側ニ存ス。但シ上八木村立石組ノ西端ヨリ三原川ニ架セル園行寺橋ヲ經テ市村ノ東端ニ至ル約八十米ノ間ニハ中絶セリ。コレ國道改修ニ際シテ伐採セルモノニシテ此附近ニ於ケル該並木ヲ有セシ舊國道ハ現國道ノ南方ヲ通過シ居タルモノ、如シ。

概シテ八木村ニ屬スル並木ハ巨大ニシテ市村以西ノ部ハ稍コレニ劣ルノ觀アリ。此等ノ巨松中ニハ樹齡二百年ヲ出ヅルモノアリ。三好學博士ノ說ニヨレバ該並木ハ其距離ノ長キト樹幹ノ大ナルトニ於テ本邦第一ト稱セラル。

松並木總數一千數十本、ソノ他數十本ノ櫻竝ニ少數ノ他木ヲ混ユ、今並木中巨大ナルモノ數株ニ付テ見レバ

八木村松並木ノ最東端北側ニアルモノ

根本周圍 五〇〇メートル

目通周圍 三七〇メートル

天然紀念物

一一

高サ 二三五〇メートル

八木村並木東端ノ南側ニアルモノ

根本周圍 四・五〇メートル

目通周圍 三・四〇メートル

高サ 三二五〇メートル

上八木村鳥井組ニアル古松（目下拂下ゲヲ請求セルモノ）

根本周圍 六・〇〇メートル

目通周圍 四・五〇メートル

高サ 三七〇〇メートル

上八木村鳥井組ニアリテ松並木中最大木

根本周圍 七・〇〇メートル

目通周圍 四・七〇メートル

高サ 三七五〇メートル

地上八・〇〇メートルノ部ヨリ二枝ニ分ル。

尚松並木中ノ最高木ハ鳥井組東端北側ニアルモノニシテ三八五〇メートルノ高サヲ有ス。

傳説・村民ノ傳フル處ニヨレバ此松並木ハ一夜ノ中ニ盜賊ガ植ヘタルモノナリト稱セリ。サ

レド確實ナル記録ノ現存スルモノナキヲ以テ、ソノ植樹ノ年代、植樹者等ハ知ル可ラズ。

參 考

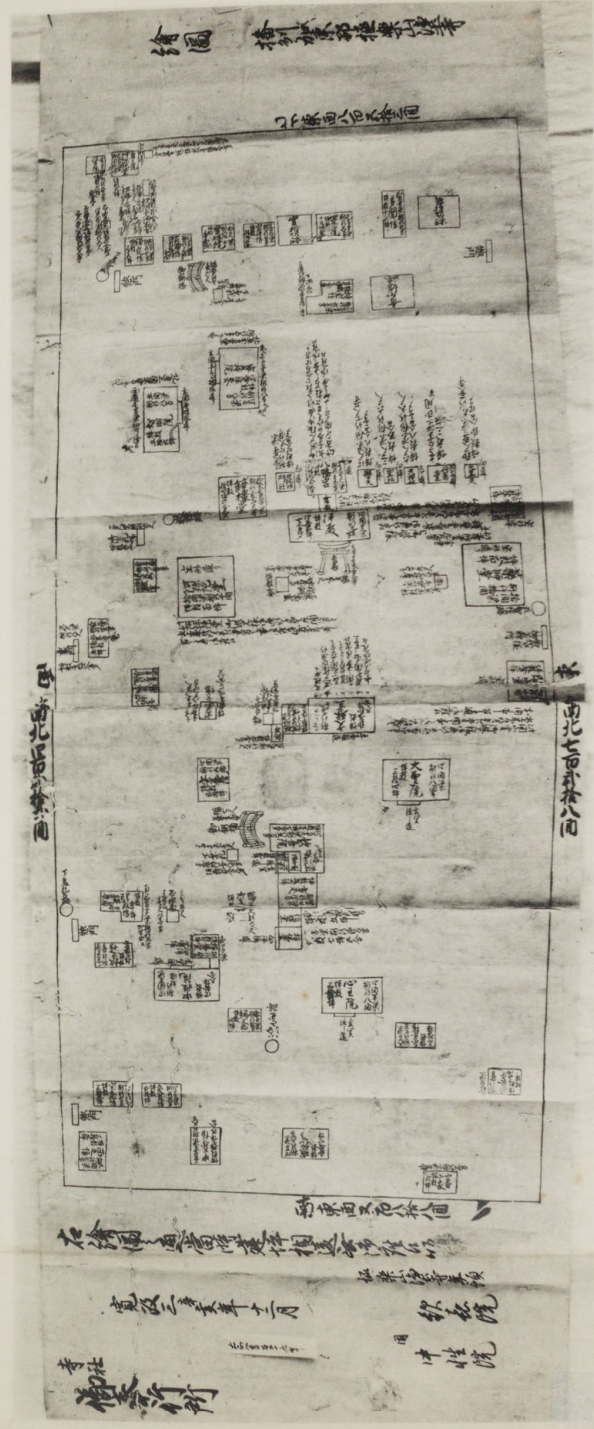
天然紀念物調査報告植物之部第六輯（内務省發行）四七四八頁參照

該並木ハ大正十五年二月二十四日内務省ヨリ天然紀念物トシテ指定セラル。

（山島・松本委員）

圖

版



(藏所寺土淨)

圖內境寺土淨年三政寬



堂山開ビ及(左ヲツ向)殿璃瑠寺土淨 (上)



物組部内(堂師樂)殿璃瑠寺土淨 (下)

淨土寺扁額 (字面内徑整三尺九寸)



(淨土寺所藏)

傳開山俊乘坊及觀阿彌供養塔

(在淨土寺境内)





(藏 所 寺 士 淨)



(淨土寺所藏)

木彫俊乘坊重源座像

(丈二尺六寸四分)



觀河津池仁良言上

後條中賜寺内並野六尺致用表元用由寺
本願聖實南河津池仁良言三月并五月
月忌僧任用全折事

石本願上人云本寺遠居三國寺遠三勵隨分發
力被成若干大管了年云我法人忠寺恩修華
尤不可被及量件陸忌用陸折之多年來全以元其
以次僅相為彼期日住信寺如能相健定及向
忌先仍免預列折中此子由之及免預預如修信
開最寺内便也並野可死用折忌日用陸折之由被
成下又了依之住信寺若以房中後爾令開最由
代之更均作及三三取欣同也賜當時折下又欲
令備後代地又加之書月忌之元年未相登自今
年正月休相語持在之人同音十種住元令轉法
且上所祈禱也且寺中祭唱也年元折隨之於
地之任免預預下知也中賜寺並野原元用此
忌日并每月月忌僧任用陸折仍言上如件

承久三年三月 日

觀河津池

(淨土寺所藏)

狀上言彌阿觀(上)

大郡衛店官中

江橋文位

遠保五年十月十日

自長井殿觀河津池地
於大郡店門田伍町内
三町結田 并淨土堂本坊壹
宇十幸於田者明春勸修
三時可計死至本坊者
先如元可也功位也此件

(淨土寺所藏)

狀契某人上橋法(下)

圖版第八 淨土寺筒瓦及ビ拓影

永祿六年四月廿九日
其為

三月廿八日
其為

其為

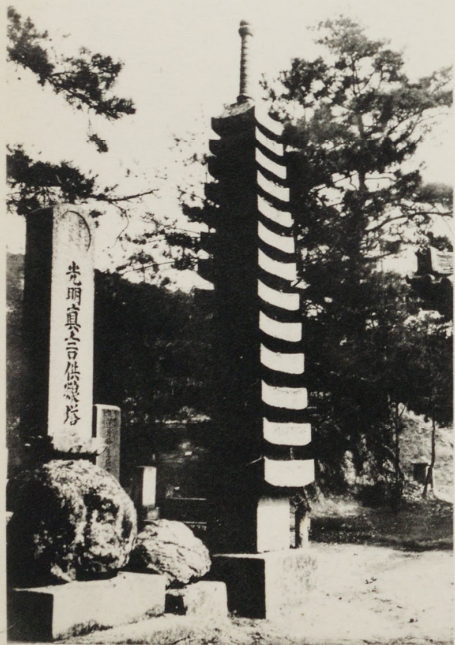


(淨土寺所藏)

圖版第九 淨土寺疏瓦拓影及ヒ花瓦



(淨土寺所藏)



(上) 報恩寺全景
(下) 報恩寺十三重石塔

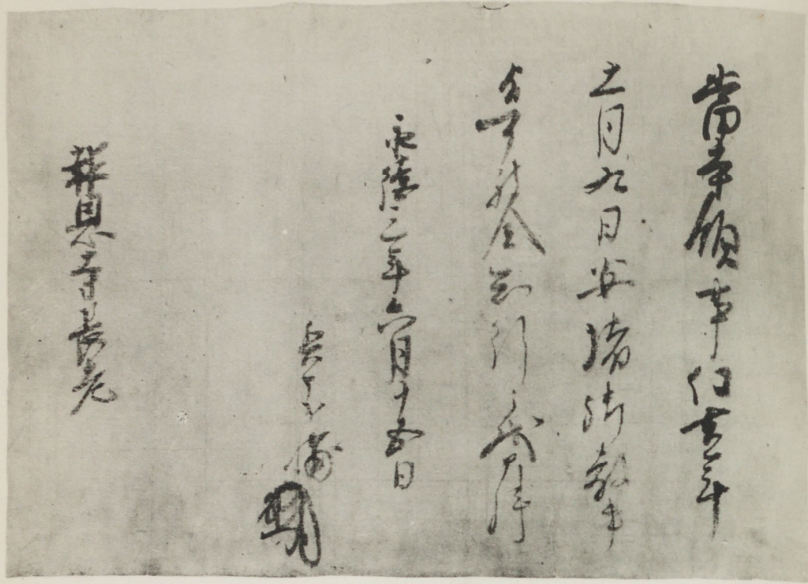
圖版第一一 印南山報恩寺繪圖



(報恩寺所藏)

裏書ニ「播州印南山報恩律寺七堂圖・永祿
十一戊辰年二月十五日勸進道叔」トアリ

(竪五尺二寸八分)



狀塔安則義松赤 (上)

(報恩寺所藏)

本書ノ宛書ニ「當寺長老」トアリ



狀塔安政滿松赤 (下)

(報恩寺所藏)

(報恩寺所藏)

本書ノ宛書ニ「當寺長老」トアリ
 赤松國三ノ五代目報恩寺住持九
 兵衛ノ神九ノ人政則 添林也
 拙僧作三國寺詣子松永成等
 廿五
 播磨國下司郡報恩寺 願
 奉化表式取致永隆為永清
 下知旨法由然下知旨為
 永清之由是 然云神形務
 精誠之云云謹
 永成
 三ノノノ 願

狀堵安則政松赤 (上)

播磨國下司郡報恩寺
 住持 任達式親 添林
 忘水文明下知旨為永清
 下知旨法由然下知旨為
 永清之由是 然云神形務
 精誠之云云謹
 永成
 六月十二日 願
 報恩寺長老

狀堵安因性松赤 (下)

(報恩寺所藏)

當寺法云奉命修除
 訖此旨可之知也
 二月七日
 赤松政村公事免狀
 當寺住持

(報恩寺所藏)

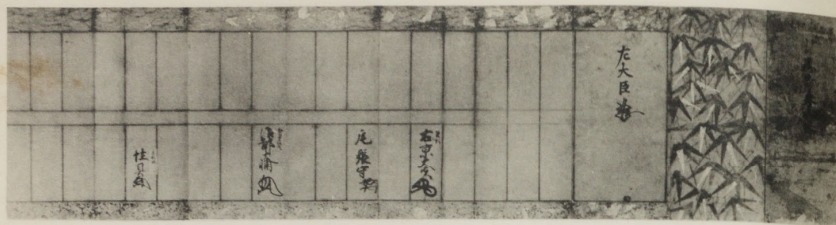
狀免事公村政松赤 (上)

(竪九寸三分)

播磨國平島郡赤松寺
 寺領事任建法親慈願
 應永御下知名指石田換
 申書為知新下之取不有
 相違以別之立抽然其
 二月七日
 赤松義安堵狀
 當寺住持

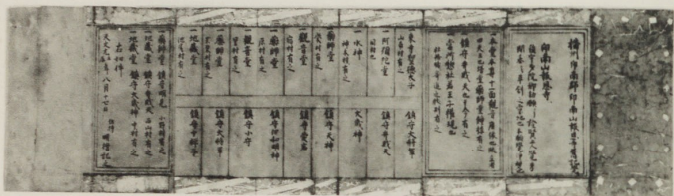
(報恩寺所藏)

狀堵安祐義松赤 (下)



(分四寸一尺一堅
分一寸六尺五長)

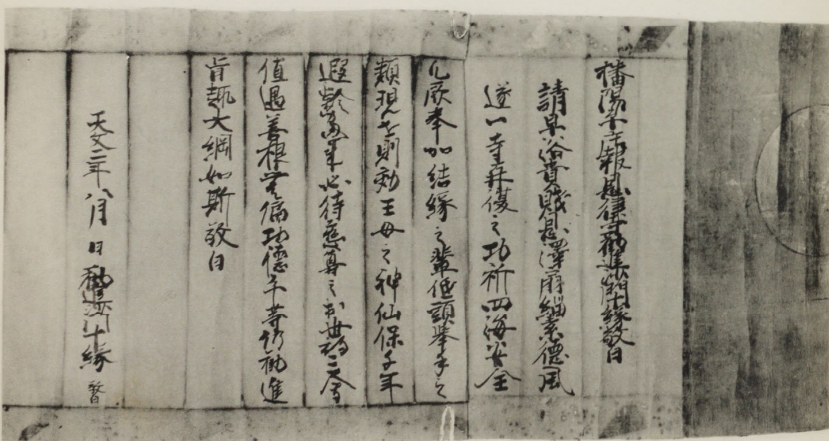
帳加奉寺恩報 (上)



(尺一 堅
分八寸五尺三長)

記舊藍伽寺恩報 (中)

(報恩寺所藏)



帳進勸縁十 (下)

(報恩寺所藏)

播磨國中前山角村
 報恩寺権理社領田村白
 拾二石餘事月先規景附記
 全丁收納社中音邊山林
 竹木該後亦免除山角其永
 正六有相事也
 慶安元年七月廿日

(報恩寺所藏)

狀印朱光家川德 (上)

播磨國中前山角村報恩寺
 権理社領田村白拾三石餘事
 社中音邊山林竹木該後亦免
 除山角其永
 正六有相事也
 寛保二年七月廿日

(報恩寺所藏)

狀印朱宗吉川德 (下)



(△望ヲ山旗白ニカ遙方前リヨ道沿村松赤) 谷溪ノ川種千 (上)



寺雲法(下)



(法雲寺所藏)

(分二寸五徑長部存殘) 瓦古寺雲法 (上)



(法雲寺所藏)

圖近附寺雲法畫版 (下)

(右) 寶林寺古瓦



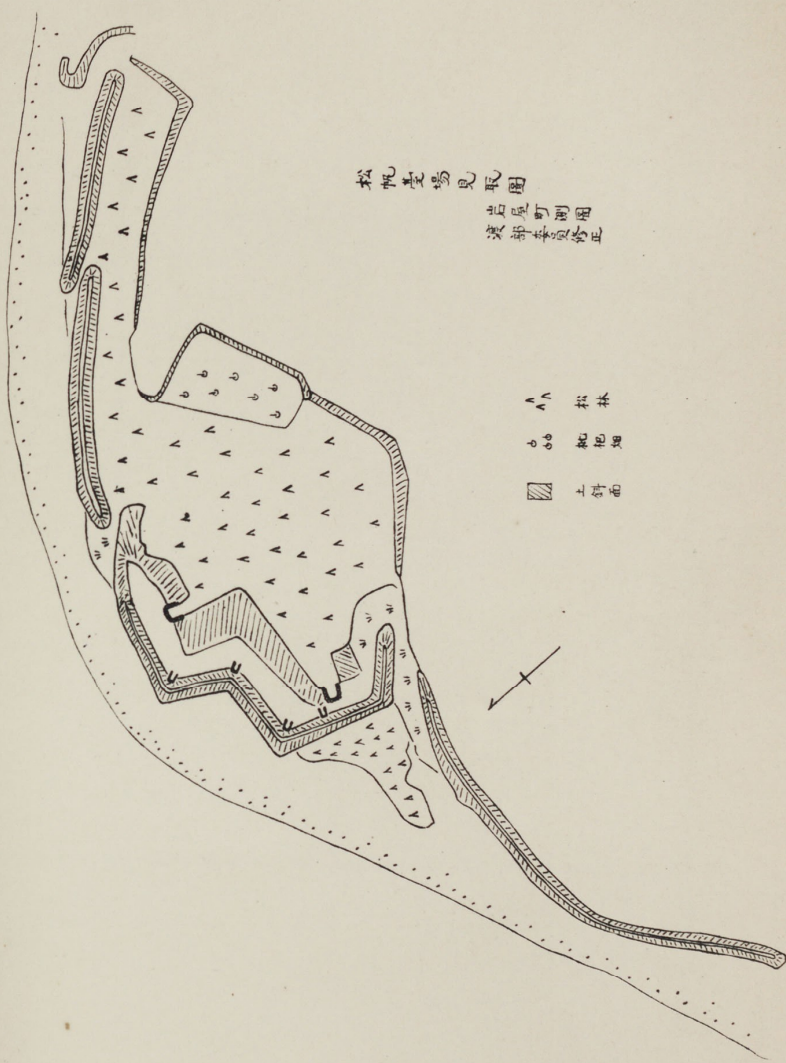
(寶林寺所藏)

(左) 木彫赤松圓心坐像

(丈二尺八寸)



(寶林寺所藏)



松帆堂場見概圖
 岩屋町剛圍
 築部景修正

▲▲ 松林
 ○○ 柞畑
 ▨ 上斜面



(右ノ濱ノ石明ハ岸對 △望リヨ面背) 望遠ノ場臺帆松 (上)



(ルタ見リヨ方外) シ 隱目ノ外場練調場臺帆松 (下)



(面外) 壁障ノ場臺帆松 (上)



▲望ヲ壁胸テツ通ヲ走者武 (面内) 壁障ノ場臺帆松 (下)



(壁胸ビ及座砲) 構遺ノ場臺帆松 (上)



(趾座砲) 構遺ノ場臺帆松 (下)



(上) 松帆臺場ノ遺構 (彈藥庫跡)

(下) 松帆臺場ノ遺構 (火藥庫跡)

向ッテ右方ノ石疊ノ上邊ニ微カニ
存セル桁梁ノ跡ニ注意セヨ





望遠ノ跡場臺松龍（上）



（跡庫藥火）構遺ノ場臺松龍（下）



(フ窺ヲ構架ノ壁胸ヲヨ方内) 趾遺ノ場臺川拂 (上)



(リナ構舊ノツガ分部ルエ見ク黒部一ノ垣石ノ面前) 趾遺ノ場臺城古 (下)

圖版第二九

慶野松原



青 龍 洞



○ 川 嶺 新 圖



門洞原下(上)



門洞ノ屋芦(下)



部外ノ門洞鐘釣（上）



口出ノ門洞鐘釣（下）

三尾海岸ニ於ケル岩脈



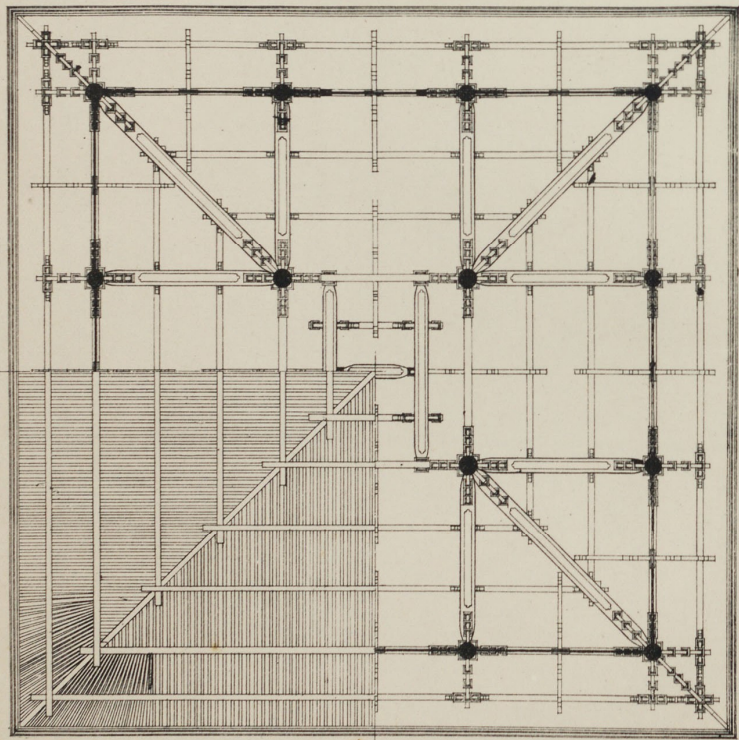
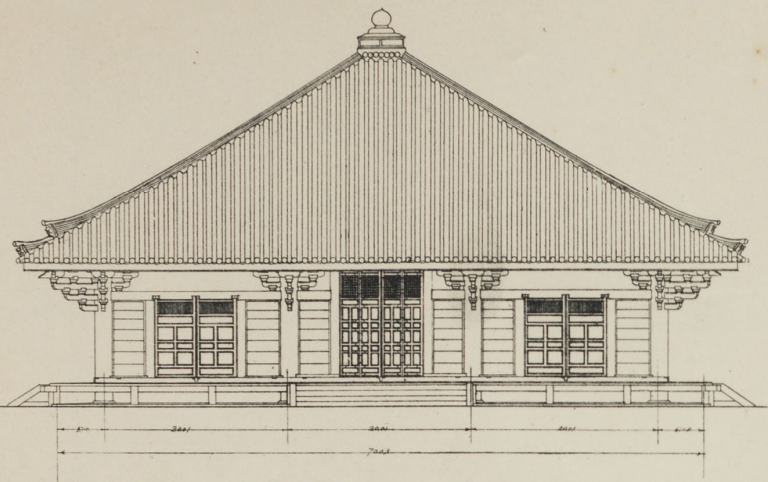
釣鐘洞門ノ内部



圖版 第三四 大島ノ柱狀節理及ピ岩脈

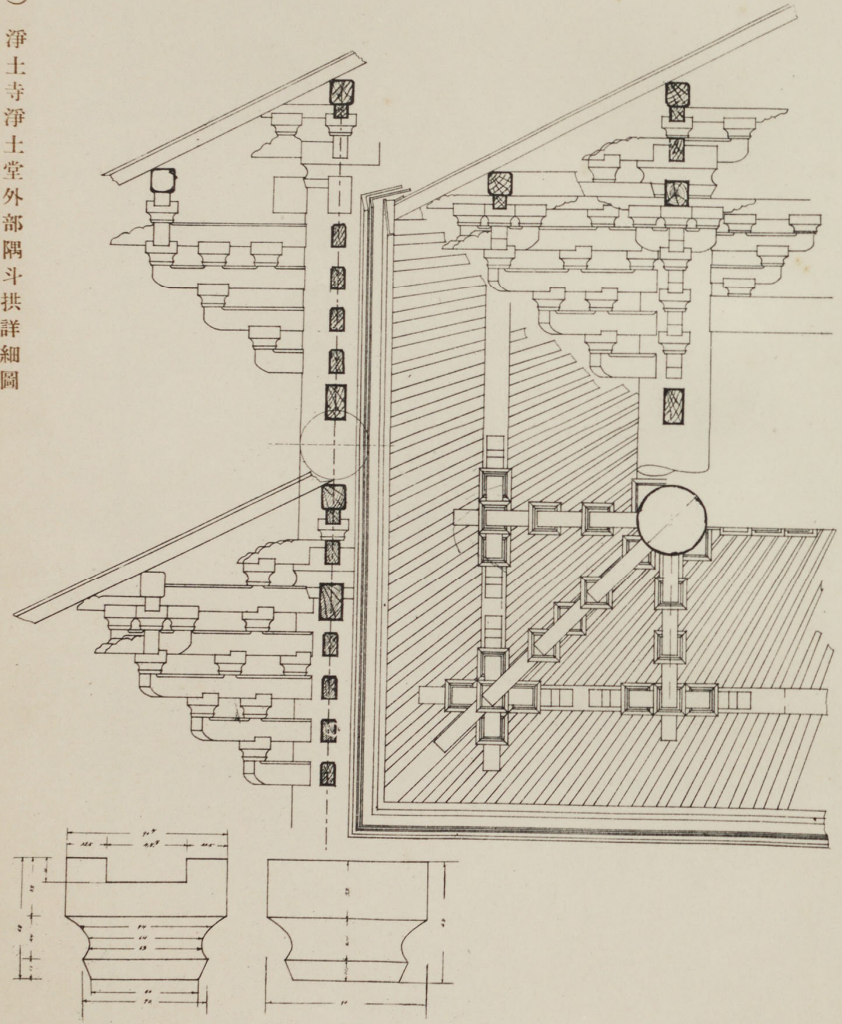


圖版 第三五 (追加) 淨土寺淨土堂正面圖及ト同天井見上圖



(大正拾參年七月實測)

圖版第三六(追加) 淨土寺淨土堂外部隅斗拱詳細圖



昭和四年三月廿五日印刷
昭和四年三月三十日發行

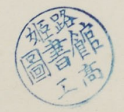
兵 庫 縣

神戸市磯上通一丁目四番地

印刷者 松村宗太郎

神戸市磯上通一丁目四番地

印刷所 光村印刷株式會社



290

兵庫県立図書館

☎ 078-918-3366



104643630



兵庫県立図書館
☎ 078 918 3366



A104643630A